

令和2年度4月号 [4月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

見えない敵に勝つ

校長 安部正幸

令和2年度が3年生177名、2年生231名に新たに入学した1年生222名を加えて総数630名でスタートしました。昨年度と比較して、生徒数で63名の増加となりました。また、学級数では特別支援学級を含めて4学級増えました。先生方は7名が転出され、新たに14名お迎えしたことにより7名の増加となりました。

いつもと違う春

本来ならば生徒数も教職員数も大幅に増加して活気のある新学期がスタートするはずでした。しかし、今年の春は新型コロナウイルスの影響によって、始業式も入学式も延期となり、毎日学校へ通ってくる生徒たちの元気な姿を見ることのできない、いつもとは違った春となりました。

見えない敵と戦う

避難訓練の時に、生徒の皆さんに話し続けてきた『自分の命は自分で守る』ということ。まさに今、このことが試されているのだと思います。今自分は何をしなければならないのか、自分自身でしっかりと考えて行動していくことが求められています。そして、その延長線上には『人に迷惑をかける』という、さらに大切な目標があります。『自分だけは大丈夫』『少しくらいなら』という考えは、自分の命を危険にさらすだけではなく、自分の身近にいる大切な人たちの命をも脅かすこととなります。今は我慢の時です。まずは、自分の健康管理と生活リズムの確保に努めましょう。それが、見えない敵と戦うためにまずやらなければならないことだと考えます。

誤った情報やデマに注意

情報網が発達した世の中だから気を付け

なければならないことがあります。それは誤った情報やデマを信じ込まない事です。さらには、それを良かれと思って拡散しないことです。誤った情報の拡散は悪意によるものもありますが、多くは、早く知り合いに知らせてあげなければという良心から来るものだそうです。以前、『ウイルスはお湯を飲めば死ぬ』という情報が拡散したことがありました。しかし、冷静に考えてみれば、お湯はすぐに手に入るもの。もしそれが有効であれば、今頃、こんなにウイルスは感染していない。ということに気づくはずです。冷静に判断し、正しい情報を選別していく力も必要です。

皆で思いやりの心を

感染症は、何時でも誰もが感染するリスクを背負っています。感染してしまった人やその関係者を責めるようなことはあってはなりません。このことは、後に人権問題やいじめにつながっていく危険性を秘めていると考えます。また、感染リスクの高い職業の人を、いやがる風習があると聞きます。私の妻は保育士で、娘は看護師です。リスクを背負っても必要としている人がいるから毎日働いているのです。そこをどうか理解してほしいと思います。これら全てを皆で克服できたとき、初めて、見えない敵に勝ったと言えるのだと思います。